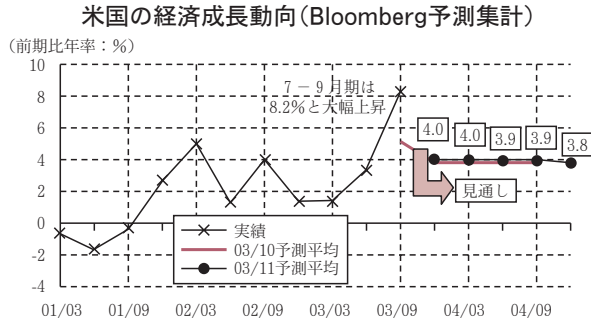


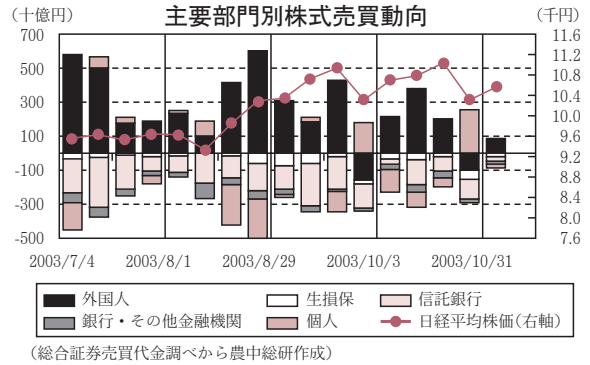
今月の情勢 ～経済・金融の動向～

最近の経済・金融情勢

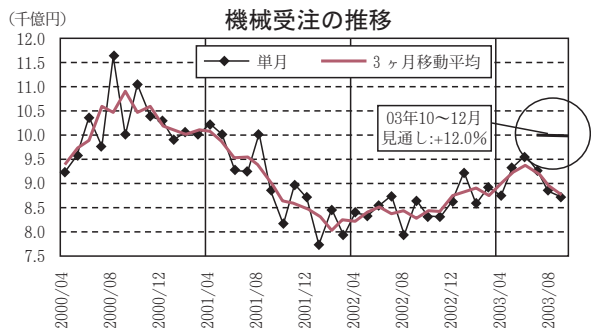
・米国では、7～9月期のGDP成長率が前期比：+8.2%に急上昇、04年にかけても4%程度の成長が続くと予想される。しかしイラク情勢が依然として安定せずテロ懸念が高まったことに加えて、米国投資信託会社による不正取引が発覚。海外投資家の株の買い越し幅が縮小しており、わが国の証券市場にも影響が出てくるとの懸念が広がった。



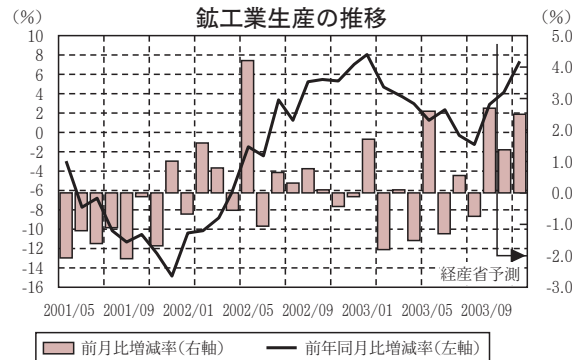
Bloombergデータから農中総研作成  
 見通しはBloomberg社集計の調査機関見通し



・わが国では、景況感が好転し先行きにも安心感が生じている。7～9月期のGDPは前期比：+0.6%増と、7四半期連続のプラス成長。政府、日銀ともに11月発表の景気判断を上方修正した。生産動向も年末年始に向け電子部品・デバイス等ハイテク関連業種が輸出に牽引される形で堅調に推移する見通しである。設備投資の先行指標となる機械受注は7～9月期がマイナスとなったが、10～12月期は前期比：+12.0%増と、大幅に増加する見通しとなっている。

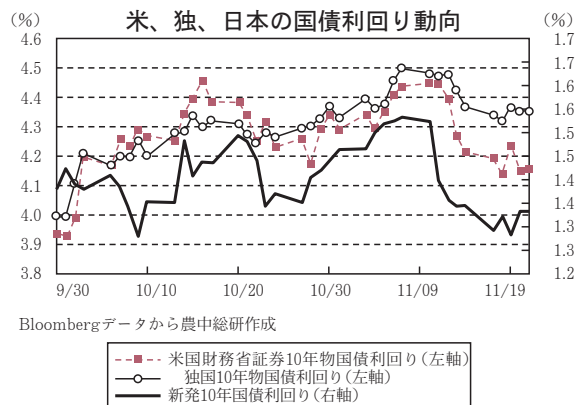


内閣府「機械受注」より農中総研作成

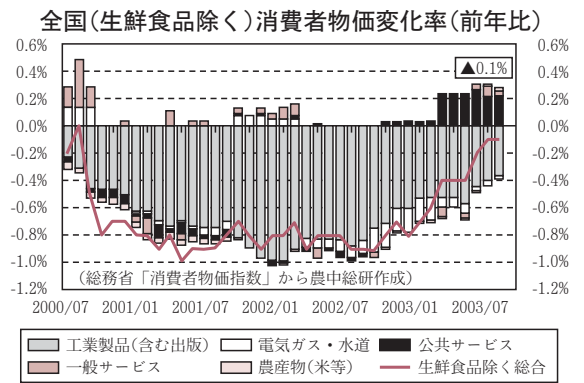


資料 経済産業省「鉱工業生産」  
 (注) 予測は、製造工業生産予測調査の当月見込みと翌月見込みの季節調整増減率

・ただし、ドルが円やユーロに対し下落している。米国の経常赤字拡大や04年11月の大統領選挙を控え、ブッシュ大統領がドル安容認に向かうのではないかとの思惑から円高となっている。円高が進行・長期化すれば、輸出企業を中心として、国内経済への悪影響が懸念される。また、わが国株価(日経平均株価)は4月下旬以降上昇し9月中旬に年初来最高値を記録した後、1万円台で推移したが、11月中旬には一時9600円台まで下落した。なお、日銀は11月21日の政策委員会・金融政策決定会合で、当座預金残高目標を27兆～32兆円程度に据え置く方針を決定した。



Bloombergデータから農中総研作成



最近の主な出来事

月日	政治・財政	経済・金融	海外・その他
10月24日(金)	・日本道路公団、藤井総裁の正式解任を決定	・財務会計基準機構の企業会計基準委員会、固定資産の減損会計基準の適用指針を決定	
10月27日(月)			・米バンク・オブ・アメリカとフリートボストンが合併合意
10月28日(火)	・第43回衆院選公示		・FRB、政策金利（FFレートの）を現行の年1.0%に据え置き
10月29日(水)			・欧州委員会、ユーロ圏（12カ国）の03年の経済成長率予測を0.4%に下方修正。04年は1.8%。
10月31日(金)	・日銀、当座預金残高目標を「27-32兆円程度」で据え置くことを決意		・米下院、875億ドル規模のイラク関連の追加歳出法案を可決
11月1日(土)			・欧州中央銀行（ECB）の2代目総裁にトリシェ・前フランス銀行総裁が就任
11月4日(火)	・福井日銀総裁、ペイオフを予定どおり05年4月に実施するよう要求	・日本政策投資銀行、三井住友FGと経営不振企業の再生で提携合意	
11月5日(水)		・トヨタ9月中間決算、売上高が前年同期比8%増の8兆2242億円と、中間期の過去最高を更新	・オーストラリア連邦準備銀行、政策金利を0.25%引き上げ5.0%に
11月6日(木)			・イングランド銀行、政策金利を0.25ポイント引き上げ3.75%に。
11月8日(土)		・松下電器産業、国内でのテレビ向けのブラウン管製造の中止を発表。国内電機大手はすべてテレビ向けブラウン管の国内製造から撤退へ。	
11月9日(日)	・第43回衆院総選挙、小泉首相が統投		
11月12日(水)			・イラクでイタリア軍警察現地本部への自爆テロ発生
11月14日(金)	・ラムズフェルド米国防長官が来日、小泉首相と会談	・第2四半期GDP速報、前期比：+0.6%、年率：+2.2%	・第3四半期ユーロ圏GDP前年比：+0.4%
11月16日(日)			・国際テロ組織「アル・カイダ」系組織が日本でのテロを計画していると各社報道
11月20日(木)			・トルコのイスタンブールで英国領事館など2カ所で同時爆発が発生

政府と日銀の景況判断

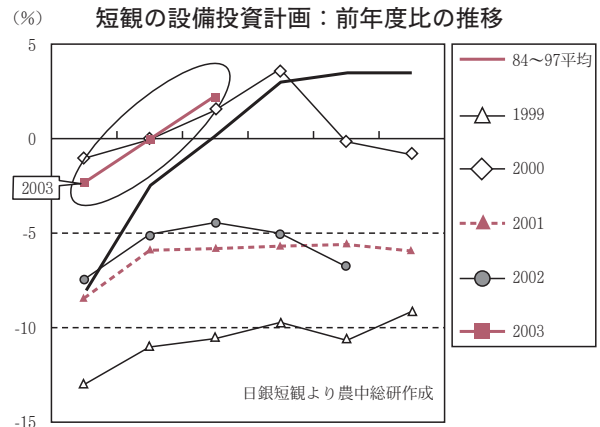
年月	政府月例報告		日銀金融経済月報	
2002年	11月	➡ 持ち直しに向けた動きがみられるものの、 <u>テンポ</u> はさらに <u>緩やか</u> になっている	➡	回復へ向けて <u>不透明感が強まっている</u>
	12月	➡ 持ち直しに向けた動きが弱まっており、 <u>おおむね横ばい</u> で推移している	➡	全体として <u>下げ止まっている</u> が、回復へ向けての <u>不透明感が強い状態</u> が続いている
2003年	1月	➡ <u>引き続き持ち直しの動き</u> が見られるものの、 <u>弱含み</u> でいる	➡	全体として <u>下げ止まっている</u> が、回復への <u>不透明感が強い</u>
	2月	➡ <u>引き続き持ち直しの動き</u> が見られるものの、 <u>弱含み</u> でいる	➡	<u>先行き不透明感が強い</u> 中で、 <u>横ばいの動き</u> を続けている
	3月	➡ <u>おおむね横ばい</u> となっているが、 <u>イラク情勢</u> 等から <u>不透明感が</u> 増している	➡	<u>横ばいの動き</u> を続けている。国際政治情勢やその影響を含めて、 <u>下振れのリスク</u> には引き続き注意
	4月	➡ <u>おおむね横ばい</u> となっているが、 <u>不透明感が</u> みられる	➡	<u>横ばいの動き</u> を続けている。設備投資の判断を「 <u>持ち直しつつある</u> 」と上方修正
	5月	➡ <u>おおむね横ばい</u> となっているが、 <u>引き続き不透明感が</u> みられる	➡	全体として <u>横ばいの動き</u> を続けているが、 <u>先行き不透明感が強まっている</u>
	6月	➡ <u>おおむね横ばい</u> となっているが、このところ <u>一部に弱い動き</u> がみられる	➡	<u>横ばい圏内の動き</u> を続けている。輸出にやや弱さがみられる
	7月	➡ <u>おおむね横ばい</u> となっているが、このところ <u>一部に弱い動き</u> がみられる	➡	<u>横ばい圏内の動き</u> を続けている。設備投資は <u>緩やかな持ち直し</u> 基調
	8月	➡ <u>おおむね横ばい</u> となっているが、 <u>景気を巡る環境</u> に <u>変化の兆し</u> がみられる	➡	<u>横ばい圏内の動き</u> を続けている。輸出が近いうちに <u>増勢基調</u> を取り戻す
	9月	➡ 景気は、 <u>持ち直し</u> に向けた動きがみられる	➡	<u>横ばい圏内の動き</u> を続けている。輸出環境などに <u>改善の兆し</u> がみられる
	10月	➡ 景気は <u>持ち直し</u> に向けた動きがみられる	➡	<u>緩やかな景気回復</u> への基盤が整いつつある
10月	➡ 景気は <u>持ち直し</u> している	➡	<u>緩やかに回復</u> しつつある	

内閣府「月例経済報告」、日経「経済月報」より農中総研作成

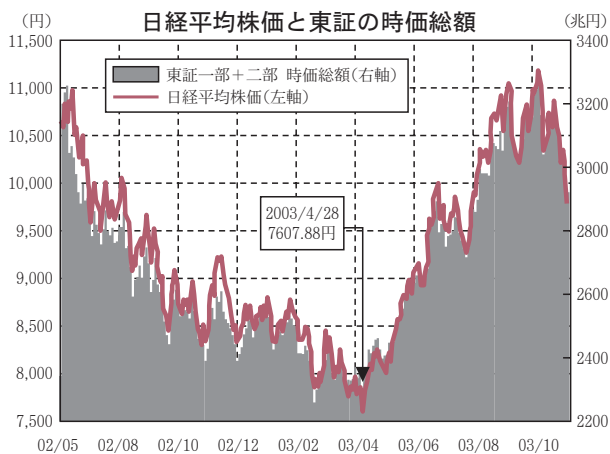
内外の経済金融データ



Bloombergデータから農中総研作成 ISM(米供給管理協会指数)を3ヶ月先行  
(注) 90年代後半の米国GDPの平均成長率は3.7%



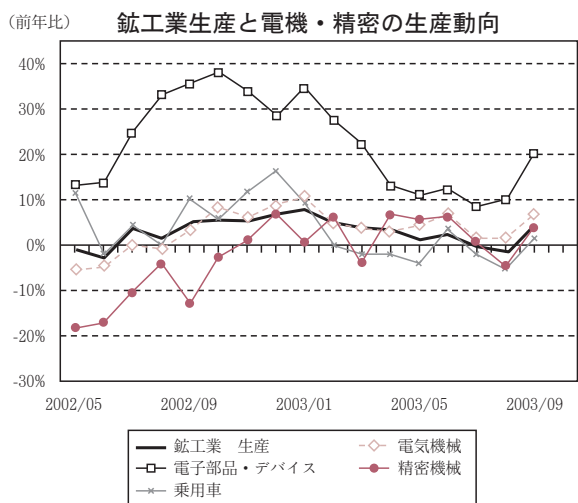
日銀短観より農中総研作成



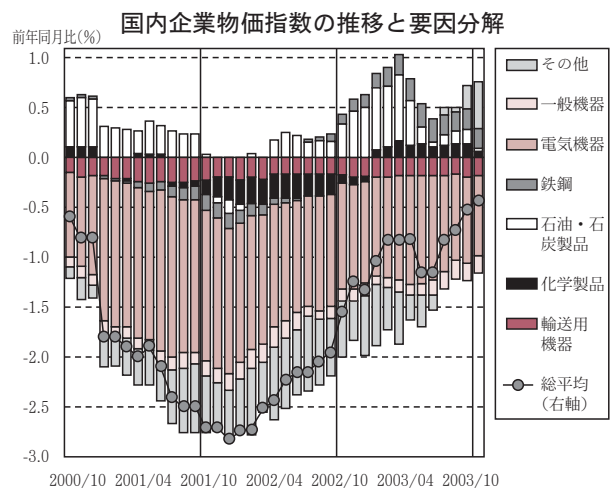
NEEDS FQから農中総研作成



Bloombergデータから農中総研作成



経産省「鉱工業生産」から農中総研作成



資料 日本銀行「企業物価指数」

今後の内外中期スケジュール

区分 時期		国内		海外
		政治	経済・金融	
03年度 (H15)	10~3月		12月 地上波デジタル放送開始	
			3月 固定資産の減損会計任意適用開始	
04年度 (H16)	4~9月	1月：通常国会	04年度 年金制度改正（年金財政再計算） 配偶者特別控除廃止 4月：消費税総額表示義務化、 外形標準課税の導入 証券仲介業制度の創設・証券会社にラップ口座解禁	5月 露大統領任期満了（3月選挙）
			9月 「銀行株式保有制限法」で銀行は保有株式を基本的自己資本以内へ	6月 米国でG8サミット
		7月 参議院通常選挙	7月 千円、五千円、一万円の各紙幣改刷	8月 アテネ夏季五輪
	10~3月		04年度末：「金融再生プログラム」の不良債権比率半減の達成期限	11月 米国大統領選・連邦議会選挙 11月 チリで APEC 首脳会議 1月1日迄に、WTO 新ラウンド交渉終結 2004年後半以降、Windows XP 後継バージョン「Longhorn」を市場投入
05年度 (H17)			4月：ペイオフ解禁 郵政3事業の民営化方針 固定資産の減損会計完全実施 3~9月：愛知万博	PS 等次世代ゲーム機相次いで投入 英国でG8サミット EU上場企業によるIASBの国際財務報告基準（IFRS）
06年度 (H18)		9月 自民党総裁任期切れ	新BIS規制開始	ロシアでG8サミット 2月 イタリア・トリノ冬季五輪 ドイツでFIFAワールドカップ

(国内経済金融班 木村)